

夢咲かせよう 立志の丘で

平成25年11月22日
No.31

公開研究会終わる

「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」の指定を受けている西仙北小・中学校の自主公開研究会が11月14日に開催され、北は北海道、南は富山県、静岡県、熊本県、長崎県と、県内外の先生方並びに西仙北小学校、西仙北中学校の職員の総勢約200名で、一日研修会を行いました。

研究主題は「学び合いによる確かな学力の育成～小中連携と授業デザインの工夫を通して～」でした。

午前10時40分から、西仙北小学校で国語、算数、図工の授業公開、そして午後1時35分からは、西仙北中学校で国語、数学、美術の授業を公開しました。

数学の授業は3年A組。「相似をつかって、問題を解く」授業でした。問題は「33歳の厄年で、会いに来た恩師が、3m60cmの街灯に照らされて、壁に街灯の約6分の1が映っていました。街灯から先生と先生から壁までの比は、大体3：2でした。さて、恩師の先生は誰でしょう？」でした。

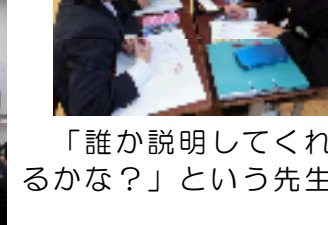
最初に影ができるイメージを人体モデルに光りをあてて全員で確かめました。

3分間の自力思考の後に、学び合いである4人グループになりました。一生懸命考えるのですが、難しくてわかりません。

「わかったぞ！ここはさあ、こうなるからこうだろう……」などと説明していました。

「どこまでわかった？」先生が確認しています。ヒントをくれたかなあ？

ほとんどの班がわかって、前に集まって確認です。



「誰か説明してくれるかな？」という先生

の投げかけに、式を解く生徒が出て来て、解法リレーで次々と説明をしました。

2年B組の国語もたくさんの参観者でした。単元名は、「君はどちらの絵を見たいか～二つの文章の魅力比べよう～」でした。

教育専門監の先生も一緒に授業をしました。

「僕の考えは〇〇です。」と力強く発表していました。

1年B組は美術の時間で、題材名は「自分の気持ちを光に込めて」でした。

部屋を暗くして、お互いに作品を鑑賞しました。

授業が終わってから、先生方もグループで研究協議会を行いました。

最後の全体会で小中の研究主任がこれまでのあゆみをパワーポイントをつかって説明しました。

参観者の感想を紹介します。

○小学校 福島県 男性
・参観授業小中算数・数学

① 小中が「本当に」連携していると感じた。

フツーこういう公開をすると、連携は小学校の学びの姿をどう維持するかーみたいになるが、小学校の学び方を続けると、中学校では、こうなるのかーと、実際をみる事ができた。私は、小学校の教員だが、これには参りました。

② つなぐ、学び合い……

つなぐ、学び合うーとは、具体的にどんな姿かー私なりに勉強していたつもりだが、これだけ徹底していると先生方が、本当にすごい。フ



ツーそんなの意味ないとか、できないとか、先生方が意固地になってやらないことを、本気で子どもをつなぎ、リズム、テンポをどの授業も維持している先生方がすごい。

- ③ 小学校の職員同士、中学校の職員同士、教科、校種をこえて仲がよいと感じた。=子どもたち同士が繋がっている、縦も横も。

○中学校 熊本県長州町立長州中学校 男性

・研究協議会 算数・数学

非常に行き届いた学習環境の中、しっかりと信頼関係の上で子どもたちと先生方が授業を創り上げられている様子に感動しました。普段から丁寧で熱心なご指導の賜かと推察いたします。

子どもたちが授業開始から終了まで集中して、かつ意欲的に取り組んでいました。

小中連携が今日一日見ただけでもしっかりとされていることが分かるほどでした。同じベクトルで進む子どもたちは力強く伸びていくのではないかと思います。

学び合いは子どもたちの学習態度(姿勢)の如何によって高まると感じました。授業だけでなく、生活指導や学校行事などあらゆるところでしっかり指導されているのだらうと思いました。

生徒同士、先生同士、先生と生徒の温かいつながりが随所に見られ、児童生徒が伸びやかに生き生きと活動している土台となっていると感じました。

○ その他 静岡県御殿場市教委 女性

・参観授業 小中 国語

「学び合い」「小中連携」という二つの視点から参加させていただきました。遠くから来たかがありました。素晴らしい授業、多くの「つながり」を見せていただき、学びがたくさんありました。

小中ともにみんなで考え、全員が学んでいる姿、まずは同じ土俵に乗せるという先生方の思い、そのための工夫を考え抜かれていることが、本日授業の中での児童生徒の発言、態度、目の輝きから伝わってきました。目指す姿、つけた力が明確にされているため、授業の中で目的をもって学ぶことができているのだと感じました。また、小学校の学習の成果が中学校でも活かされていることもわかり、小中連携において何に取り組むべきなのか示していただけただけのように思います。「分かる」「できる」、授業の中で「なるほど」「そうだったのか」という思いがふれる、根拠のある発言や説明ができる、などなぜ学力が身に付くのか、ヒントをいただいたように感じました。今回の参観の機会をまわりにもつないでいくことが私の役割だと責任の重さを感じております。今後とも是非参考にさせていただきます。

心からどうもありがとうございました。小学生の素直で純粋な歌声に感激し涙が出ました。

○小学校 岩手県岩泉小学校 男性

・参観授業 小中 図工・美術

① 授業について

小中ともに、本時の活動の流れが示されている点、全体での鑑賞の仕方の指導が行われている点と同じで、小中連携の授業デザインとはこういうことなのかな、と感じました。また、小学校では「同じ色だけど形によって受ける印象は違う。」。中学校では、「同じ形(光)でも、感じ方が違って面白い。」という内容の発言があり、児童生徒に指導したいことも意識されていると感じました。

② 研究協議会

つなぎタイムIでしっかりと学び方を指導すること、図工・美術での話し合いは、図工・美術の観点(指導事項の内容)で行うことの大切さを学ぶことができた。

③ その他

本日はありがとうございました。たくさん学ばせていただきました。さわやかな挨拶をしてくれる児童生徒の皆さんを見て大変嬉しかったです。

進路講話集会開催

11月14日の3・4校時目に、西仙北中学校の前身である刈和野中学校卒業生、(株)今野商店社長今野宏さんと東中学校第9期生卒業生の大仙市役所勤務の佐々木愛さんのお二人をゲストティーチャーに、進路講話集会を開催しました。

お二人に、現在のお仕事や、仕事での夢、そして中学生に望むことなど、約30分くらいずつお話しいただき、その後質疑応答となりました。

質問では、黴(カビ)のお仕事をしている今野さんに集中しました。

◇質問 「国語力、コミュニケーション能力が必要ということでしたが、オランダに行かれたとき、英語はどうでしたか？」

◇答え 「言葉は道具ですので、英語のために英語を勉強しても意味がありません。相手に伝えようと英語を使うことで、身に付きます。だから、コミュニケーションで困ったことはありません。」

◇質問 「新しい黴を発見したら、ノーベル賞は取れますか。」

◇答え 「新しい黴を発見しただけでは、ノーベル賞はとれません。その新種の黴が人類の役に立つと分かったとき、初めて取れるかもしれません。」

生徒の皆さんの感想文を読むと、とてもためになった先輩のお話だったとありました。お二人の先輩、ありがとうございました。

★草薨杯バレーボール大会11月23～24日

大曲体育館